

オーストラリア・カレードスコープ

～多民族社会の現状から日本の将来を考える～

兵庫県立長田高等学校 中桐真帆 原田真帆

動機と目的

昨年8月、シドニーへホームステイ

→たくさんの素朴な気づき

- ・ホストファミリーの多様さ
- ・都市部での建設ラッシュ

↑ 世界中からの移民による人口増加のため



・なぜオーストラリアに移民が多いのか？

・日本の実情はどうなっているのか

オーストラリアの多民族社会から
これからの日本社会のありかたを考える

オーストラリアの現状

歴史

18c後半 白豪主義 移民の制限
戦争による人口減で移民受け入れ積極化

人種基準

1971 白豪主義廃止 制限の廃止
→ポイント制の導入

能力基準

現在の多文化社会への発展

ポイント制

自分の能力をポイントに換算

若さ+英語力+職業経験+学齢 ≥ 65

必要な人材の確保→自国の活性化

調査手法

- ・インタビュー 各家庭のバックグラウンドを調査
対象:ホームステイ先の13家族

調査結果

- ルーツ 欧米系、アジア系など様々
五カ国語話せる人も
- 生活での困難 言語、文化で苦労
→友人、コミュニティを作り解消
- アイデンティティを維持することは困難か
いいえ (100%) 両方の文化を大切に
- オーストラリア社会について

多様性を尊重している

多くの就労の機会

良質な教育機会

政府の援助◎

➡ オーストラリア在留の外国人は自国のアイデンティティを維持しながらも、オーストラリアという国の一員であることへの自覚を持っている。

オーストラリアの多文化主義政策

法整備



「未来に向けた多文化社会」「人種差別禁止法」
多様性の維持・発展を公式に承認



国としての基本法は無し

国のサービス



通訳サービス

無料 (医療機関、政府機関、緊急電話の場合)
160以上の言語に対応 安心して暮らせる!

AMEP(成人移民のための英語学習プログラム)

無料 ←政府の資金でまかなっている
英語のスキル+オーストラリア社会の知識 を学ぶ
一市民としての意識が芽生える!



浸透していない、有料(通訳)

考察—日本の問題点

異文化間の軋轢

外国人の受け入れに疑念を持つ日本人が多い



提案

日本が多様性の受容度を上げるためには

組織

施策、サービス向上

個人

理解、知識、対応力
先入観をなくす

学校での外国語教育の改革

英語の授業 + 外国の生活や文化を学ぶ
小学校からの教育→先入観(偏見)を持つ前に親しみを持つ

理解・知識・対応力を身につける

➡ 異なる背景を持つ人を尊重できる人に

外国人と共生してより活力のある国に

参考文献

- ・オーストラリアに学ぶ多文化共生施策 - 名古屋市
- ・ポイント制と永住許可 - 移民政策学会(JAMPS)
www.iminseisaku.org/top/pdf/journal/004/004_014.pdf
- ・NSW Department of Education AMEP Consortium